

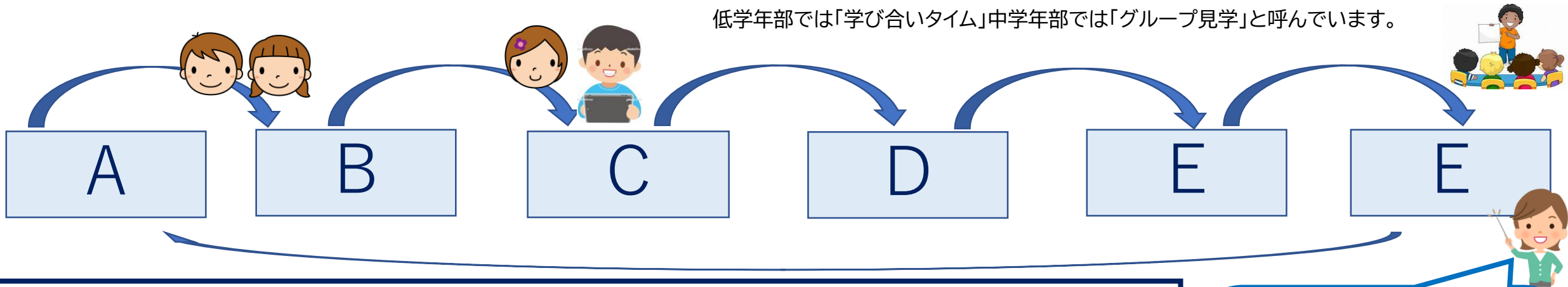
ワールドカフェ万田Ver. (考察の場面)

R5研究成果

- 学び合いで考えを深めさせたいが、学力の高い児童ばかりの発言に終始しがちで、全員が満足感のある学び合いにならなかった。
- 「誰一人取り残さない」「全員が満足感のある」全員活躍型の考察場面にしたい。

これらの願いから“ワールドカフェ万田Ver.(考察)”の方法を取り入れています。

低学年部では「学び合いタイム」中学年部では「グループ見学」と呼んでいます。



具体的な方法

W・B…ホワイトボードの略

- ①グループで話し合った後、説明係とメモ係に分かれる。
 - ・説明係…グループに残り、自分たちの考えをW・B等で説明する。
 - ・メモ係…(タブレットを持って)隣のグループへ移動し、説明を受ける。
- ②メモ係は、隣のグループの考えを聞き、質疑を行う。(W・Bなどの記録を残す)
- ③自分のグループに戻った後は、(写真などの記録を見せながら)報告し、考えを深める。

教師の出番

・授業者は、各グループの考えを把握し、交流(ワールドカフェ)でお互いの考えが深まるように(又は深め合えるように)コーディネートに徹する。